

新型コロナウイルス『5類感染症』位置づけに伴う感染拡対策について

- ◆ 2023年5月8日(月)、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類感染症へ移行されました。このことに伴い、『JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン第6版』は終了となり、2023年5月12日JBAより示された、新型コロナウイルス『5類感染症』位置づけに伴う感染拡対策についてを基本的な指針とし、引き続き感染対策を講じながら大会運営を行う事とする。

1. 基本的な感染対策の考え方

① マスクの着用

- ・ 個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本にします。
- ※ 本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人やチームの判断が尊重されるようにご配慮をお願いします。
- ※ レフェリーマスク、ホイッスルカバーも同様に大会運営側が求める場合以外は、着用は個人の判断に委ねるものとします。

② 手洗い等の手指衛生、換気

- ・ 新型コロナウイルス感染症の特徴をふまえ、基本的感染対策として引き続き有効なため励行をお願いします。

2. 位置づけ変更後の感染対策の実施の考え方と陽性者・体調不良者の対応について

- ① 以下いずれかの目安に該当する「体調不良者」は、競技会、練習・試合等への参加を見合わせてください。
 - (ア) 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合。
 - (イ) 重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
 - (ウ) 比較的軽い風邪が続く。
- ※ 体調不良者は発症から数えて2日、および症状消失後より数えて3日間は活動を休み、自宅療養することを推奨します。

3. 第38回ローズカップにおける具体的感染対策について

- ① マスク(レフリーマスク含む)の着用は個人の判断に委ねる(着脱を強くない)
 - ※ 尚、着用する場合にはU12プレイヤーの特性上、熱中症について指導者、保護者が最大限注意する。
- ② 大会参加時における、入場時検温および消毒は原則行わない
 - ※ 大会参加にあたり、各チーム関係者(指導者・帯同審判・保護者・選手等)にて検温作業を行い体調不良者に該当する者は大会への参加自粛をお願いします。
- ③ 健康チェックシートの原則廃止
- ④ 毎ゲーム後、自チームベンチ、及びT.Oテーブルの消毒は継続して実施することとする
 - ※ アルコール消毒液は各チームで用意をお願いします
- ⑤ 横断幕の掲示について制限はありませんが、各会場にて状況が異なるため、会場責任者の指示に従ってください
- ⑥ 利用体育館にて別に定める感染対策がある場合はそれに準じ感染対策を実施する
- ⑦ 新型コロナウイルスに感染した場合において
 - ※ 選手(児童)が感染した場合は、学校保健法に則り出席停止の扱いとなります。出席停止の状況においては、大会(競技)に参加することはできません。(本大会は夏休み期間中ではありますが同様に対応する)
 - また、一般の方(指導者、保護者等)の方が感染した場合には、★①『政府が推奨する外出を控えることが推奨される期間』の遵守をお願いいたします。

★① : 『政府が推奨する外出を控えることが推奨される期間』 厚生労働省HPより抜粋

- コロナ陽性者(有症状) : 発症後5日間経過するまで、且つ症状軽快から24時間経過するまで
- コロナ陽性者(無症状) : 検査採取日を発症日(0日)として5日間経過するまで